

観光立市推進に向けた取り組み 及び方向性について



令和 3 年(2021 年)11 月 9 日

文化スポーツ観光部観光課

1 地方自治体の目的と観光立市

(1) 地方自治体の目的

- ・地方自治体の目的は、住民福祉を増進することにある。
- ・住民福祉を増進するためには財源が必要で、主な財源である市税収入を増やすには、産業の振興・育成により、雇用を増やし、市民や市内企業の収入を増加させていくことが重要になる。

(2) 市内産業構造の変化

- ・戦後の市内産業は、自動車や造船などの製造業を中心に発展してきたが、その後新たな産業の柱に情報通信関連産業を位置付け、市内産業構造の転換を図ってきた。
- ・これらの産業は、グローバルな影響を受けやすく、近年は、製造の自動化やA I など新たな情報通信技術の進展に伴い、直接雇用に結び付きにくい産業になりつつある。

(3) 観光を主要産業へ（なぜ観光なのか）

- ・人口減少と目まぐるしく動く世界経済、産業構造の中で、さまざまな状況の変化に対応するためには、市内産業構造の多様化を図っていくことが重要である。
- ・また、少子高齢化と人口減少が続く日本で、今後定住人口の増加を図っていくことは困難であり、外から人を呼び寄せる産業が必要となる。
このような状況において、新たな基幹産業となる観光業を成長させ、主要産業に押し上げていくことが重要と考えている。

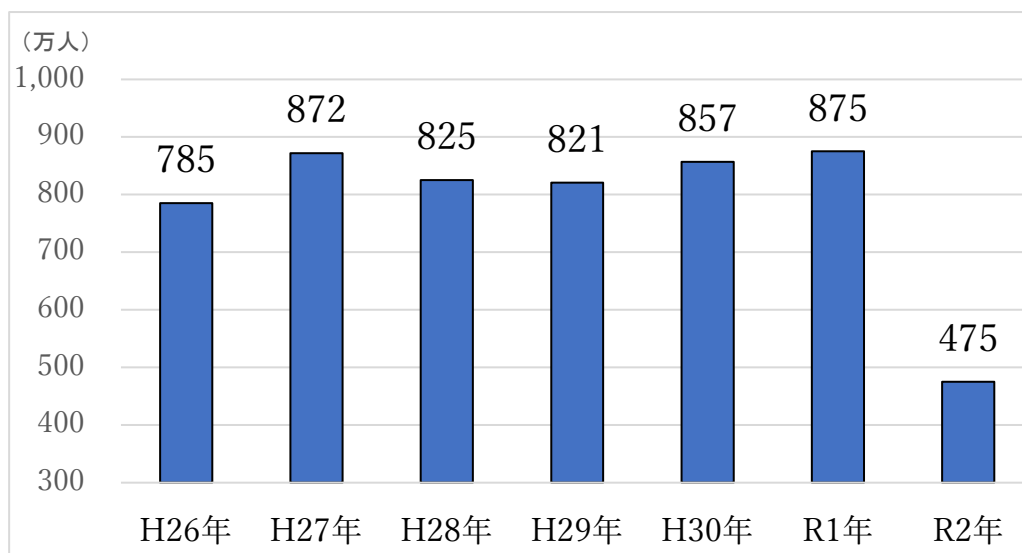
2 観光立市推進に向けた現状と課題

(1) 横須賀のポテンシャル

- ・ペリー来航の地としての浦賀・久里浜や、軍港都市として全国的な知名度は高く、近代歴史の源となる史跡なども現存し、多くの文化財が日本遺産に認定された。

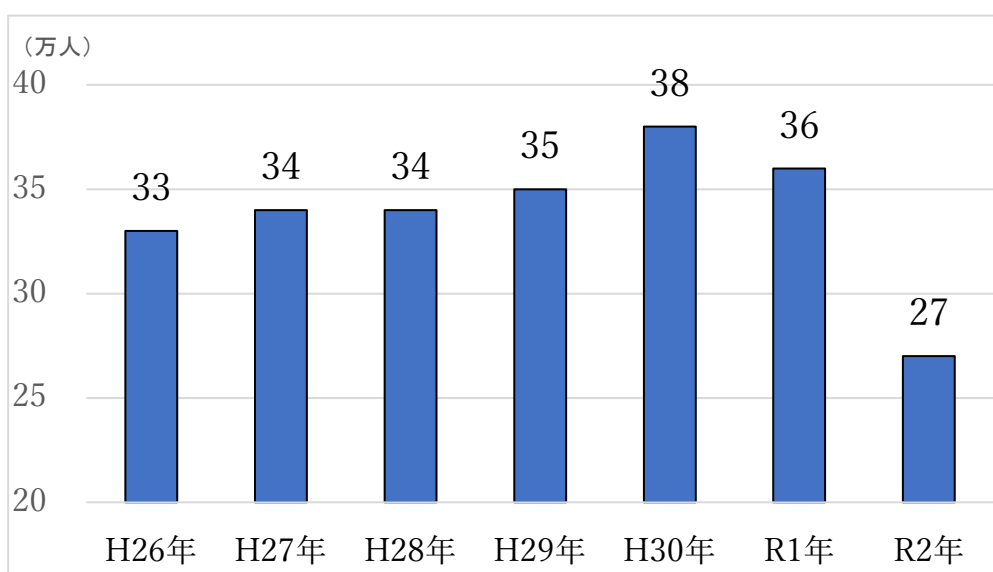
⇒観光客数などは、令和元年度までは増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、観光客数など主要な数値は大きく落ち込んでいる。

(観光客数の推移)



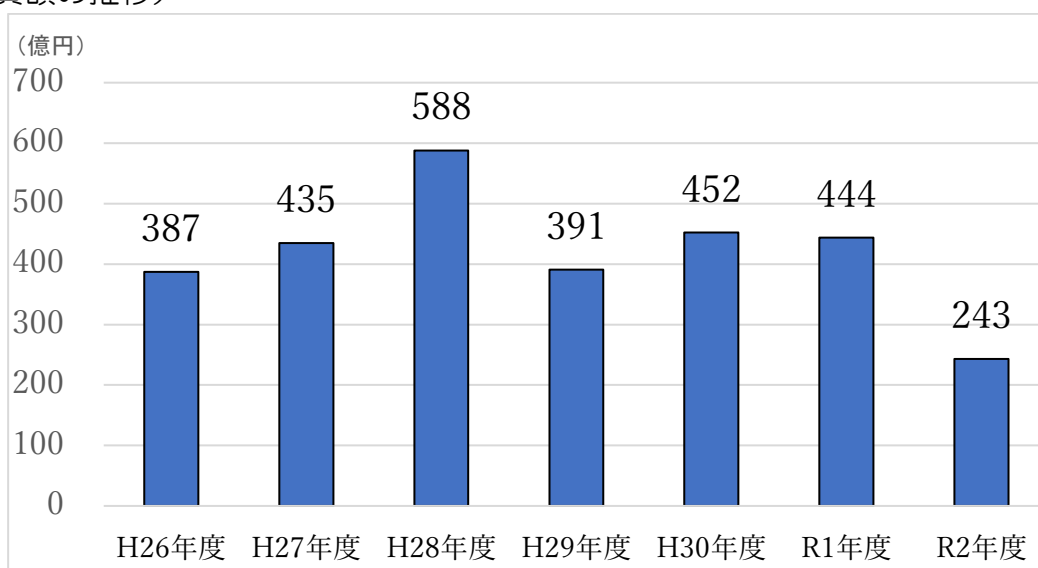
実績値 (R 2 年)	475 万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	950 万人
観光立市推進基本計画 (R 7 年)	1,000 万人

(宿泊客数の推移)



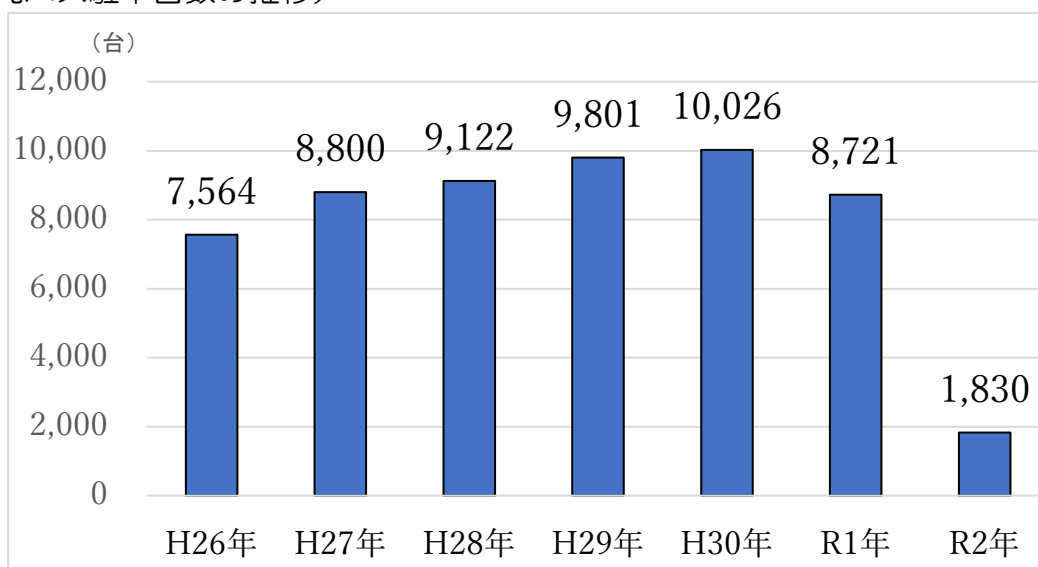
実績値 (R 2 年)	27 万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	44 万人
観光立市推進基本計画 (R 7 年)	50 万人

(消費額の推移)



実績値 (R 2 年度)	243 億円
観光立市推進アクションプラン (R 3 年度)	595 億円
観光立市推進基本計画 (R 7 年度)	636 億円

(観光バス駐車台数の推移)



実績値 (R 2 年)	1,830 台
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	13,000 台

(2) 観光立市推進に向けた課題

① 観光客の男女比

- ☆ 軍港やカレー、近代歴史のイメージが強いためか、横須賀市を訪れる観光客の男女比は圧倒的に男性の割合が高い。

(男性 71.3%、女性 28.7%：平成 28 年度実施の横須賀市観光マーケティング調査結果より)

⇒観光客をより一層増加させるためには、近代の歴史に興味がある人のみをターゲットにした観光振興ではなく、女性、ファミリー層、外国人も含めた、多くの方々への新たなアプローチが必要であると考えている。

② 1人あたり観光消費額が低い

- ☆ 日帰り客の割合が圧倒的に高く、単価の高いお土産や飲食が少ないため、観光消費額が少ない。

⇒新たな商品やサービスの開発を行い、宿泊施設を増加させる必要があり、周遊を促進させるために、市内交通アクセスや利便性を向上させる必要があると考えている。

◇宿泊・日帰り観光客の平均消費単価

(神奈川県観光客消費動向等調査報告書より)

	令和元年		令和2年	
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
横須賀市※1	4,646 円	15,011 円	4,459 円	16,019 円
鎌倉市	5,799 円	41,919 円	5,794 円	28,361 円
横浜市	5,660 円	24,409 円	5,891 円	17,456 円
箱根・湯河原地区	5,857 円	29,644 円	6,993 円	26,710 円

※1 三浦半島(鎌倉地区以外の平均消費単価)

◇宿泊・日帰り観光客の割合

(神奈川県入込観光客調査報告書より算出)

	令和元年		令和2年	
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
横須賀市	95.9%	4.1%	94.3%	5.7%
鎌倉市	98.3%	1.7%	96.6%	3.4%
横浜市	87.3%	12.7%	79.3%	20.7%
箱根町	77.3%	22.7%	77.8%	22.2%

3 音楽・スポーツ・エンターテインメントの推進について

(1) 考え方

- ☆ 「音楽・スポーツ・エンターテインメント」を観光集客ツールとして、本市の新たな魅力を発信し、歴史だけではない新たな観光客層の獲得を目指す。

(2) なぜ音楽・スポーツ・エンターテインメントなのか

- ☆ 男性、女性、ファミリー、外国人などの属性に関係なく、誰もが親しみを感じられるコンテンツである。
- ☆ 心に訴え、誰にでも響くコンテンツである。
- ☆ 各分野における本市の関連と強み

- | | |
|-------------|--|
| ・音楽 | … ジャズ、ロック発祥の地としてのルーツ |
| ・スポーツ | … ベイスターズ、マリノス、ウインドサーフィン、アーバンスポーツなど新たな可能性の芽生え |
| ・エンターテインメント | … アニメ、ゲーム、音楽配信会社とのコラボや、実績の積み上げ |

(3) 音楽・スポーツ・エンターテインメントを活用した新たな取組の効果

平成 30 年度から日本遺産などを舞台にした音楽・スポーツ・エンターテインメントに関する様々な取組を行った結果、以下のような変化が現れてきた。

①民間企業とのコラボレーション

行政が主体ではなく、民間企業の人材やノウハウ、資金を活用しながら、連携した集客の取り組みを行うことにより、明るくハイセンスなイメージを発信し、新たな客層を誘引する効果

ポケモンGO ワンピース センスアイランド	これまで横須賀に興味を持たなかった観光客の来訪 ⇒横須賀の良さをSNSで発信 ⇒猿島を訪れる女性客や外国人客が増加
-----------------------------	---

②横須賀の新しい動きを前向きに捉え、新たな市内外企業が投資・進出

民間企業と連携した新たな動きや魅力を発信することで、これらの取り組みに関心を持ち、横須賀で事業や投資をしたい民間企業が現れている。

(ア) よこすかポートマーケット

…いちご株式会社がリニューアルを担い、2022 年春オープン予定

(イ) ホテル誘致 …2021 年 12 月に「ホテルニューポートヨコスカ」が開業予定

(ウ) 三笠ターミナル …市内企業が建設し、2020 年 7 月にオープン

(エ) e スポーツ、アーバンスポーツ …NTT 東日本ほか 4 社と連携

(オ) 新たなフェリー航路の就航

… 横須賀港と北九州港を結ぶ新規フェリー航路が 2021 年 7 月に就航

③文化庁とのコラボレーション（日本遺産の新たな見せ方）

日本遺産とアニメ・音楽などを行うことにより、日本遺産に興味のない人も、音楽・スポーツ・エンターテインメントとのコラボレーションにより、日本遺産に親しむことができる取組が、面白いアプローチとして文化庁に認められ、補助金を交付された。

（例）猿島でのアートイベント（センスアイランド）

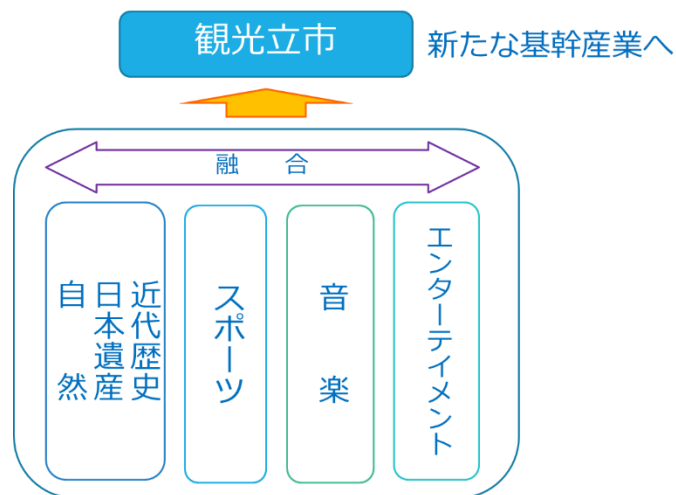
日本遺産とアニメのコラボ（猿島とワンピースのコラボイベントなど）

ヨコスカ街なかミュージック

など

4 新たな観光立市の方向性

（観光立市のイメージ）



- ◇ 自然や日本遺産、近代歴史とスポーツ・音楽・エンターテインメントとを融合させ、相乗効果により発信力を高める。

あわせて、他の地域との差別化を図り、これまで横須賀に目を向けることが少なかった女性、ファミリー層、外国人などを誘客する



- ◇ 都市として「楽しそう」「面白そう」「ワクワクする」イメージの発信



- ◇ 新たな観光客の増加



- ◇ 再来訪の好循環



- ◇ 観光産業の成長・基幹産業化

5 今後について（令和4年度からの新実施計画に向けて）

（1）観光の核となる地域資源の磨き上げ・活用

市内の地域資源を観光の核となるよう磨き上げ、魅力的にすることにより、外から人を呼び寄せ、観光消費額を増やす場所を提供する。

①新たな核となる拠点（目的地）づくり

来年春に再オープンするポートマーケットや、住友重機械工業から寄附を受け、これから活用を検討する浦賀レンガドックなど、新たな核となる観光拠点が生まれる。これらの魅力により、新たな観光客層を開拓する。

②地域資源をつなぐしくみづくり

観光客や観光消費額を増やすためには、地域資源を線でつなぎ、横須賀の魅力を十分に楽しんでもらうことが重要である。

今年5月にティボディエ邸が開館し、市内をミュージアムとして楽しむルートミュージアムが本格的に稼働した。民間事業者等とも連携しながら、市内の移動手段を充実させ、各コンテンツへの利便性の向上や周遊へとつなげる。

③地域資源と音楽・スポーツ・エンターテインメントの融合

歴史や文化、自然などの地域資源と、音楽・スポーツ・エンターテインメントなど、様々なコンテンツを融合させ、年齢・性別などの属性にかかわらず、誰もが親しみを感じられ、ワクワクするような横須賀独自の観光を創り出す。

（2）横須賀でお金を使いたくなるモノ、コトの創出

市内の消費を拡大するためには、お金を使いたくなるモノやコトが市内に多く存在し、そこに観光客が立ち寄ることが重要になる。ポートマーケットを魅力的な施設にするとともに、横須賀の定番となるようなお土産の開発、マリンレジャーの体験型コンテンツなど、観光を消費につなげる取り組みを進めていく。

（3）民間企業等とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

地域資源を魅力的なものとして強力に発信するためには、行政の力だけでは不十分である。専門性や発信力の高い民間企業の人材、ノウハウ、資金を活用する必要があり、民間企業とのネットワーク構築を進め、コラボレーションにより新たな魅力を発信することで、横須賀に新たな投資や事業を行う民間企業を増やす。

（4）効果的なプロモーション

ヨコスカ街なかミュージックでは、YouTube で人気のピアニストなどと連携することにより、横須賀の風景や街なかの魅力を広くPRした。これまで横須賀に関心がなかった層に新たな魅力を届けるため、デジタルコンテンツの活用も含め、音楽・スポーツ・エンターテインメントをツールとしながら強く発信し続けていく。

6 観光立市推進に向けた取り組みについて

(1) スポーツを活用した取り組み

- プロスポーツチームとの連携（横浜F・マリノス、横浜 DeNA ベイスターズ）
- トップアスリートと触れ合える環境の充実
- 「ウインドサーフィンのまち」としての仕掛けづくり

スポーツを新たな観光コンテンツとして位置づけ、市外からの集客を促進させるとともに、市民が楽しみ、誇りや愛着を持てる環境を充実させる。

①横浜F・マリノスの練習拠点の整備

- ・JR久里浜駅付近に、横浜F・マリノスの練習場を誘致し、整備を推進する。
（令和4年10月一部供用開始）
- ・また、横浜F・マリノスと連携した地域との取り組みや、商店街が行うスポーツを活用したイベントや雰囲気づくりなどの主体的な取り組みを支援し、久里浜地域のまちづくりを推進する。



【練習場イメージ】

②横浜DeNAベイスターズ

- ・横浜DeNAベイスターズの総合練習場「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」が令和元年8月に完成。
- ・ベイスターズ、京浜急行電鉄（株）との連携協定を活用した取り組みや追浜地域の商店街と連携し、追浜エリアの集客を促進。
- ・令和2年度は、スポーツを核にしたまちづくりを更に進めるため、横須賀スタジアムの施設改修（ナイター照明）を実施し、令和3年度は、追浜公園駐車場の拡張工事など利便性の向上を図り、追浜地域のまちづくりを推進する。



③ウインドサーフィンワールドカップ

- ・世界最高峰の大会「ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」を平成 29 年（2017 年）から津久井浜海岸で開催。
- ・これまで 3 回開催をしたが、令和 2 年（2020 年）、令和 3 年（2021 年）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送っている。
- ・この大会をきっかけに、新たなウインドサーフィンの大会、合宿などの誘致や「ウインドサーフィンのまち」としてのイメージ発信、定住促進に向けた取り組みを進める。



④アーバンスポーツ（BMX、スケートボード）大会の開催

- ・若年層に人気があり、エンターテインメント性が高く、アメリカ発祥で横須賀のイメージにも合う、BMXなどのアーバンスポーツによる地域活性化を目指し、「BMX フリースタイルジャパンカップ」の開催に向けた調整を行う。
（令和 2 年（2020 年）、令和 3 年（2021 年）は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った）
- ・さらに、大会誘致を契機に、うみかぜ公園を中心としたエリアで、スケートボード、ダンスやeスポーツなどを生かして、横須賀のスポーツの新たな魅力を発信し、多くの若者が集まるまちづくりに取り組む。

⑤マリンスポーツの振興・推進

- ・ウインドサーフィンをはじめ、SUP やシーカヤックの体験など、本市の持つ魅力の一つである自然環境を活かし「他の地域では出来ない体験ができる横須賀」を目指す。
- ・マリンスポーツ推進に関する動き



令和 2 年 9 月 21 日 民間事業者と連携して、東京湾では初めてのカヤックフィッシング大会を開催

令和 3 年 4 月～6 月 津久井浜海岸で初の SUP 大会（津久井浜 SUPer マラソン）を開催（民間事業者が主催、後援：横須賀市）

7 月 民間事業者と連携して、猿島でカヤックガイドツアーを開催

⑥ e スポーツの推進

e スポーツ関連のイベントの開催や市内高校への導入などを進め、e スポーツの裾野を拡大するとともに、全日本、国際大会の誘致を目指す。

◇Yokosuka e-Sports Project

e スポーツに関わる人々によって、地域コミュニティの活性化及び新たな文化が定着することを目的としたプロジェクト。令和2年12月から開始し、音楽・スポーツ・エンターテインメント都市の発展を推進することで、子供たちが希望をもって成長し続けることができる街の実現を目指す。

- ・ 高校 e スポーツ部設立・活動支援

市内高校13校中8校にe スポーツ部の設立のための、PC（周辺機器含む）等を、民間事業者の協力を得て無償譲渡。（各校最大5セット）

また、遠隔で指導するプログラムに対して、授業料を助成。

- ・ e スポーツオンラインセミナーの開催

開催日：令和3年2月2日（第1回）、8日（第2回）

タイトル：第1回… e スポーツ×教育、第2回… e スポーツ×ビジネス

- ・ e スポーツ大会の開催

第1回：令和3年3月21日（日）

参加11チーム

第2回：予選：令和3年10月16日（土）

決勝：令和3年11月3日（水・祝）

オンライン開催、横須賀市公式YouTubeチャンネルでライブ配信



(2) 歴史的遺産を活用した取り組み

○内閣府、国土交通省、文部科学省など、国と連携しながら、横須賀に眠る開国期からの歴史遺産を整備する。

市内に点在する近代化遺産などを活かした新たな観光拠点や、ストーリー性のある周遊ルートを創出し、観光客増加、滞在時間の延長、消費額の拡大を図る。

①「よこすかルートミュージアム」

横須賀に点在する開国から近代につながる歴史や文化の見どころや、自然豊かなスポット、観光施設を「サテライト」と呼び、それらを「ルート」でつなぐことで市内全体を大きな「ミュージアム」としてとらえた、横須賀の新しい楽しみ方を提案するもの。

(よこすかルートミュージアムが目指すもの)



◇よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸

ヴェルニー公園内に、150 年前の西洋館であるティボディエ邸（横須賀製鉄所副首長官舎）を再現した「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸」が完成し、令和 3 年 5 月 29 日にオープンした。

ティボディエ邸は「よこすかルートミュージアム」の中で、周遊ルートの中核拠点としてのガイダンス機能を備えた施設として位置づけられている。

(外観)



(エントランス)



(シアター内部)



◇サテライトについて



◇「MEGURU PROJECT」について

「ルートミュージアム」の整備にあわせ、観光庁の「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」を活用し、横須賀中央地域から浦賀地域へ人を運ぶバスや電車等の交通網の充実を行うとともに、浦賀地域を中心に、浦賀港周遊などの新しい観光資源をつくり、浦賀地域を中心とする東エリアの観光拠点の価値を高めるためのプロジェクト（実証実験）。

期間：令和3年10月23日～令和4年1月23日（土・日・祝日のみ）

参画企業：京浜急行電鉄株式会社、京浜急行バス株式会社

株式会社トライアングル、横須賀集客促進・魅力発信実行委員会



◇ティボディエ邸隣接地への飲食・物販店舗の誘致

- ・ティボディエ邸と連携して新たな魅力を創出するため、公園内の隣接地に飲食・物販店舗を誘致する公募型プロポーザルを実施した。
- ・プロポーザルの結果、「リストランテ アマルフィイ（鎌倉市七里ガ浜）」などの飲食店経営をしている株式会社 ビィバリュに決定。
- ・これにより、令和4年10月には、ヴェルニー公園内に新たに本格的なレストラン施設が開業する予定。



◇その他のルートミュージアム関連事業

・よこすかルートミュージアムスタンプラリー

「よこすかルートミュージアム」で紹介するモデル周遊コースをルートにしたデジタルスタンプラリーを実施。

本市では、スマートフォンをかざすだけで、様々な情報やサービスを瞬時に表示できるICチップ内蔵プレート（「JOYPIT」という呼称）を市内約50か所に設置しており、スタンプラリーは、周遊コースで指定した施設にあるプレートにスマートフォンをかざしてスタンプを集める。



・三笠循環バスの経路変更とラッピングの変更

横須賀中央地域を走る三笠循環バスを、ティボディエ邸開館に先駆け、本市を観光目的で訪れた方々が利用しやすい路線にするため、バスのルートを変更。あわせて、バスのラッピングを、観光周遊にふさわしいルートミュージアムのイメージにあわせたデザインに変更。

また、令和3年10月23日から、京浜急行バス株式会社の協力により、ティボディエ邸から最寄りの汐留バス停留所に「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸」の副名称を付け、標識のほか車内放送などにより広く周知を図る。

②日本遺産構成文化財

- ・平成28年に「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産に認定。旧軍港四市（横須賀・呉・佐世保・舞鶴）で連携を図り、日本遺産構成文化財を活用した取り組みを推進。
- ・今年度は、旧軍港四市にある日本遺産構成文化財や、ご当地グルメをオンラインで紹介して、コロナ禍でも自宅にしながらその魅力を楽しめるオンラインツアーを企画（ツアー実施者：ANAあきんど株式会社）。

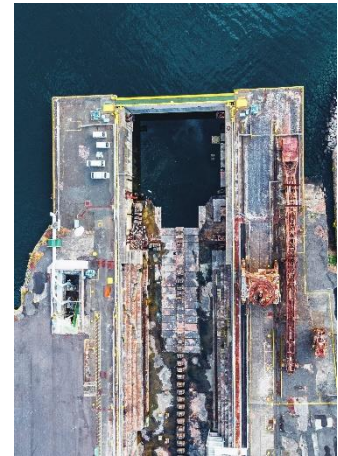
③三笠ターミナル／猿島ビジターセンター

- ・横須賀、猿島観光の新たな拠点として、京浜急行電鉄(株)、(株)トライアングル、横須賀市が連携し、令和2年7月15日にオープンした。
- ・1階にはチケットターミナル、軽飲食ブース、お土産コーナーや観光案内コーナーを設置し、2階では猿島の歴史や第二海堡の展示を楽しむ。



④浦賀レンガドック

- ・100年以上にわたり1,000隻以上の艦船を建造し、浦賀のまちの発展の中心となってきた「浦賀レンガドック」は、平成15年に閉鎖され、以降は使用されていなかったが、令和3年3月26日、浦賀レンガドックとその周辺部を合わせて、住友重機械工業株式会社から横須賀市へ寄付された。
- ・今後は、この貴重な歴史遺産を中心に、海洋都市横須賀の重要拠点としての利活用を検討する。
- ・令和3年10月23日(土)～令和4年1月23日(日)の土日祝日で、浦賀レンガドックの一般公開を実施(MEGURU PROJECT:11月3日、1月1日・2日を除く)。
※一般来場者はドック上部からのみ。ツアー申込者に限りドックの下に降りて見学可能



⑤千代ヶ崎砲台跡の一般公開の開始

- ・千代ヶ崎砲台は東京湾要塞を構成した砲台のひとつで、明治25年～28年にかけて旧陸軍により建設された。当初の姿を良く残しており、猿島砲台跡と合わせて近代の軍事施設に関する遺跡としては、日本で初めて国史跡の指定を受けた。
- ・これまで一般公開に向けた準備を進めていたが、この度、第1期整備工事を完了し、令和3年10月23日(土)から土日祝日の限定公開を開始。(地下施設内はガイドツアーでの見学。予約不要で直接現地)
- ・入場無料、ガイドツアー無料
公開日：土、日、祝日
(但し12月29日から1月3日は除く)
公開時間：10月～2月 … 9:30～15:30
3月～9月 … 9:30～16:30



⑥浦賀奉行所開設300周年記念イベントの中止

- ・浦賀奉行所開設300周年記念イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から1年延期し、令和3年10月23日(土)、24日(日)に開催予定であった。(イベント内容：記念式典、日本丸里帰り展示、レンガドックを活用したプロジェクションマッピング、記念ライブ、レンガドック見学会など)
- ・しかし、緊急事態宣言の延長や市内の感染者数、重症病床使用率など総合的に考慮し、令和3年9月10日に今年度の開催中止を発表。今後は、地域の意見を聞きながら、浦賀地区の活性化につながるようなイベントを引き続き検討。

(3) エンターテインメントを活用した取り組み

○猿島など横須賀の地域資源を生かした、音楽、アート、ダンスイベントの開催。

○アニメ・漫画・ゲーム・クリエイターとのコラボ企画を実施。

横須賀の歴史や自然に、民間事業者と連携したエンターテインメントの要素を絡め、これまで横須賀に興味のなかった方々や、一度も足を運んでいない方々など、新たな客層の獲得を目指す。

①Pokémon GO Safari Zone in 横須賀の開催（平成 30 年 8 月）

- ・世界的人気をほこる「ポケモン GO」のイベントをドルトムント（ドイツ）、シカゴ（アメリカ）に続き誘致を実現。
- ・平成 30 年 8 月 29 日（水）から 9 月 2 日（日）の開催期間中、約 20 万人が横須賀を訪れた。



②アニメ ONE PIECE×YOKOSUKA×KEIKYU120 周年イベントの開催（令和元年 7 月～10 月）

- ・作品の世界観と、海と豊かな自然に恵まれた横須賀市のロケーションからくるイメージ、世界観が重なっていることなどから実現。
- ・東映アニメーション(株)、京浜急行電鉄(株)、(株)トライアングル、横須賀市が連携し、人気アニメ「ONE PIECE」と、地域のグルメや観光資源とコラボする企画を実施。
- ・猿島や横須賀中央周辺でワンピースにまつわる装飾や、スタンプラリーなどを実施したほか、コラボグルメの提供やステッカーの配布などを行い、国内外の幅広い世代のファンに P R。

③ヨコスカ街なかミュージック

- ・令和 2 年度、新たな生活様式での「ヨコスカ街なかミュージック」の発信として、無料のオンラインライブの WEB 配信を行った（全 5 回）。
- ・今年度は、5 月にオープンしたティボディエ邸の前で、7 月 17 日～8 月 1 日の土日に、よこすかの街の魅力づくりとして、夏の夕景の公園を音楽で彩るサンセットジャズライブを開催した（全 5 回）。
- ・また、10 月 24 日には、YouTube 登録者数 5.4 万人、TikTok フォロワー数 17 万人を超える、人気ヴァイオリニスト ミ子さんによる生配信を実施。あわせて全国のファンに、音楽を通して横須賀のロケーションを周知するため、浦賀ドックで撮影した演奏の模様を、ミ子さんの公式 YouTube と TikTok アカウントで配信。



④ Sense Island～感覚の島～ 暗闇の美術館 の開催

- ・ 静寂と暗闇に包まれた、日没後の猿島を舞台としたアートプロジェクト。
- ・ 令和元年は、11月～12月を会期として開催。来訪者の約75%が市外であった。
（開催日数14日（荒天中止4日間）、チケット販売数5,817枚）
- ・ 今年度は、令和4年1月から3月の22日間開催予定。（令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止）



Photo by Naomi Circus @Sense Island 2019

⑤ myblu presents Good Music Party in Sarushima -10 Summer Days-

- ・ 平成30年度と令和元年度に、エイベックス・エンタテインメント（株）と連携し、夜の猿島で音楽イベントを開催した。
- ・ 音楽、ディナー、サンセット、夜景、自然が楽しめるロケーションで、普段味わえない至極のバカンスを提供した。
- ・ 令和元年度実績（開催日数9日間、来場者数4,500人）



⑥ サブカルチャーの活用

- ・ 横須賀にゆかりのあるアニメや漫画、ゲームとのタイアップを実施。
作品内で横須賀の露出を増やすことで集客に繋げ、横須賀に来たことがない層へ情報発信を行うことにより、新たな来訪者の獲得を目指す。
- ・ 令和3年度は、11月13日（土）から28日（日）まで「よこすか海のアニメカーニバル」（略称：海アニ）を、記念艦三笠をメイン会場にして開催。
当初、7月22日～8月15日を開催期間として準備していたが、緊急事態宣言を受け、一部イベントを除き延期していたもの。
参加作品：「ホロライブ」、宇宙戦艦ヤマト2205 新たなる旅立ち、STU48、
ダンキラ!!!-Boys, be DANCING!-
内 容：海アニパネル展、海アニスタンプラリー
トーク&ライブ（7月22日に配信にて無観客で開催済）
- ・ また、横須賀が舞台モデルの一つとなっている、令和4年1月から放送開始予定のTVアニメ「スローループ」と、市内の店舗や商店街、釣具店などとのコラボ企画が進行中。

(4) その他の取り組み

①横須賀おみやげアイデアコンテストの開催



- ・横須賀の代表的なお土産といえば「よこすか海軍カレー」や「スカジャン」など、ミリタリー関連商品が充実しているが、黒船が来航し、ペリーが上陸した開国の歴史や、海や山などの豊かな自然をイメージできるお土産が少ない。
- ・そこで、「かわいい」「おしゃれ」「癒される」「映える」「センスがいい」など、さまざまな特徴をもった横須賀の新たな定番となる、お土産の開発を支援することを目的に、新たに今年度から「横須賀おみやげアイデアコンテスト」を開催。

【コンテスト詳細】

- おみやげ開発部門…新たに製造・販売を行う商品や既存商品のリニューアル等
奨励金 100 万円（2 件）
- アイデア提案部門…新たな横須賀のお土産の企画、アイデアを募集
賞金 20 万円（3 件）
- 横須賀商工会議所会頭賞…上記 2 部門の受賞者以外のうち市内事業者又は個人からの製品や提案

②横須賀市と北九州市を結ぶ新規フェリー航路の開設

- ・令和 3 年 7 月 1 日、東京九州フェリー株式会社（SHKライングループ）が運航する、横須賀港（新港ふ頭）と新門司港（福岡県北九州市）を結ぶフェリーが就航。日曜日を除く週 6 便で発着。
- ・国内長距離フェリーの新たな航路として就航し、関東圏と九州圏を海で結ぶ物流と旅客の大動脈が形成された。



【概 要】

- 就航日 令和 3 年 7 月 1 日
- 運航 1 日 1 便（日曜日を除く）約 21 時間
横須賀港 23：45 発 → 新門司港 翌日 21：00 着
新門司港 23：55 発 → 横須賀港 翌日 20：45 着
- 船舶 はまゆう／それいゆ（2 隻体制）
定員 268 名、全長 222.5m、航海速力 28.3 ノット（時速約 52.4km）
積載台数 トラック約 154 台、乗用車約 30 台

③新規ホテルの開業（ホテルニューポートヨコスカ）

- ・旧市有地の旧三笠駐車場用地（小川町、横須賀中央駅から徒歩 10 分）に、新たなホテルを建設し、令和 3 年 12 月に開業予定。三笠公園などの観光スポットが徒歩圏内にある観光ホテル。

【詳 細】

整備事業者 「株式会社ホテル横須賀」

1957 年より市内で宿泊事業を展開。市内に 2 つのホテルを経営。

事業コンセプト

- (ア) 横須賀に新しい宿泊観光客を呼び込む
- (イ) 全室スイートルーム仕様
- (ウ) 横須賀観光の拠点となるホテル
- (エ) 地域との共存共栄

階数（高さ）…地上 14 階建て（約 45.5m）

客室数 …155 室（ツイン 123 室、ダブル 32 室）

営業開始 …令和 3 年 12 月（予定）



④「Yokosuka Tourism Promotion Movie」の公開

- ・横須賀の魅力を音楽と共に詰め込んだ、観光プロモーション動画を制作。音楽のまち横須賀らしく、多彩な音色に美しい映像をのせ、観光地や街並みを紹介。
- ・令和 3 年 7 月 1 日から三笠ターミナル、東京湾フェリー船内、北九州フェリー船内及びターミナルで放映を開始し、「よこすかムービーチャンネル（YouTube）」でも配信。今後はコロナウイルス感染症の収束も見据えつつ、動画配信などを取り入れ、状況に応じた観光プロモーションを進める。

主な紹介スポット

ヴェルニー公園、世界三大記念艦「三笠」、猿島、観音埼燈台、ソレイユの丘、浄楽寺、立石公園、若松マーケット、ドブ板通り



⑤横須賀ツーリズムバス事業（バスツアー助成金）

- ・コロナ禍で落ち込んだ観光客の増加と市内経済の活性化を図るため、市外からの観光バスを利用した旅行について、料金の助成を行う制度。
- ・旅行業者に対して助成を行い、横須賀市外から出発した旅行で、市内の指定駐車場を 2 か所以上、市内飲食店を 1 か所以上利用することが条件。助成額は、バス 1 台あたりの乗車人数により、20 人以上は 1 台あたり 40,000 円、10 人～19 人は 20,000 円（乗務員、添乗員は除く）。

⑥ ICTを活用した地域活性化事業

- ・令和2年10月に、横須賀市、NTT東日本、NTT e-Sports が連携し、市の地域活性化を目指した3者連携協定を締結。
- ・アーバンスポーツやeスポーツの定着によるコミュニティの形成、観光活性化に向けたインフラ整備による観光、周遊の促進、市民の生活利便性の向上と経済の活性化を軸に連携を推進。
- ・この取り組みを通じて「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」の発展を推進することで、子どもたちが様々な体験をし、色々なことにチャレンジできる土壌を醸成すると共に、インフラ整備による観光周遊の促進や、施設や公共システムのDX※化など、幅広い施策に取り組んでいる。

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略で、「デジタル技術が進化し、人々の生活をより豊かにする」ことを指す



◇ICTによる周遊促進について

- ・ビッグデータ解析システム機器である「AIBeacon」を市内20か所に設置。来訪者数や属性データ、回遊パターンなどを収集し、市の施策展開に活用する。
- ・ICチップ内蔵のスマートプレート™「JOYPIT」を市内約50か所に設置。スマホをかざすだけで、複数のウェブサイトへの誘導を行い、外国語を含めた観光情報のサイトへ案内するとともに、スマートプレートを利用することより、デジタルスタンプラリーの実施を可能にしている。
- ・来訪者がスマホ等のモバイル機器を活用しながら、快適に観光できるようにするため、モバイルバッテリーのレンタルサービス「充レン」を市内8か所に設置。

⑦よこすかポートマーケットのリニューアルオープン

- ・令和元年度に（一財）シティサポートよこすかが新たな運営事業者を公募した結果、いちご株式会社を代表とするグループを運営事業者として決定した。
- ・よこすかポートマーケットは令和元年12月に営業を一旦終了し、令和3年春リニューアルオープンを目指していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期し、令和4年春のリニューアルオープンとしている。

